

6年

ストーリーマップ

海を活用する | 海と人との共生

海の時間

つかむ段階 (4時間)

- 1 昨年までの学習を振り返り、成果や課題を話し合う。
- 2 有明海の魅力をたくさんの人に発信するという課題をつくる。

5年生の時より、もっとたくさんの人に有明海の魅力を伝えたい。魅力についてさらに詳しく調べて発信していこう。



調べる段階 (8時間)

- 4 「有明海の生き物」「有明海の景観」「有明海苔」のグループに分かれ、魅力を調べる。

自分たちが知らない魅力もあるかも知れないね。インターネットで調べたり、詳しい人に話を聞いたりしてみるといいね。



深める段階 (7時間)

- 6 調べてきたことをたくさんの人に発信する方法を考えたり、発信の準備をしたりする。

魅力がより伝わるように、壁新聞やポスターにまとめてみよう。見ている人が楽しめるような動画をつくるのもいいね。



広げる段階 (6時間)

- 7 これまで調べてきて思ったことを下級生に下級生に伝える。

「Ariake Sea Musium (海の美術館)」を開催し、下級生や地域の方々、お家の人を招待して、見て貰おう。たくさん魅力が伝わるといいね。



- 3 四校の地域の地理的特徴をもとに、調査対象を役割分担する。

天領小は、有明海と人との共生について調べていこう!



- 5 アンケート調査を行ったり、ゲストティーチャーの方のお話を聞いたりして、魅力を深掘りする。

有明海苔の生産状況や課題について知ることができて良かったな。私たちにできることはないかな。



他教科の関連 記号の意味

- ◆ **内容** → 教・領
 - ・学習した内容を教科・領域につなげる
- ◆ **方法** → 教・領
 - ・学習した方法を教科・領域につなげる
- ◆ **教・領** → 内容
 - ・教科・領域で学習した内容を生かす
- ◆ **教・領** → 方法
 - ・教科・領域で学習した方法を生かす

- 8 2023 海洋教育子どもサミット in 大牟田で九州地区の仲間とも意見の交流を行う。

どの学校も地域の海の環境や文化、伝統を守るための取組をしていたね!



合同学習

国語科「私たちにできること」

【教・領→方法】

- 身の回りにある問題やその解決策について明らかにする方法を学習している。

理科「私たちの生活と環境」

【教・領→内容】

- 私たちの生活が周りの環境と密接に関わり合っていることを学習している。

国語科「情報と情報をつなげて伝えるとき」

【教・領→方法】

- 調べたり、集めたりした情報の整理の仕方について学習していることをいかす。

理科「生物と地球環境」

【内容→教・領】

- 海洋教育での学びを地球環境に関する学習につなげる。

他教科の関連